

ぽっかぽか 10月 らいおん組

9月は、「運動会に向けて一直線！！」でした。コロナの影響で、体育館から長久保公園になりましたが、子ども達のモチベーションは下がりませんでした。「パパとママに動画でみてもらえるでしょ！頑張る！」と子ども達の方が、メンタルが強いと感じました。9月の下旬には、毎朝お部屋とホールのパーティーションを開き、朝から縄跳びの練習。(ホールの使える時間が限られていたため)朝の受け入れ時に「担任どこ！？」と、ご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。

「ソーラン節大好き！」「なわとび体操楽しい！」「もっともっと練習して上手になりたい！！」と、大人が練習を止めることもあるほど、「イキイキ・わくわく」頑張っています！

運動会の動画、楽しみにしててください！

「挑戦する心」 ~心を燃やせ~ by煉獄

年長になると、「集団」を意識するようになり、周りと自分を比べる力がより育ちます。社会を生きていく上でとても大切な力ですが、友達と比べて「できない自分」や「かっこ悪いのを見られたくない」という想いも強くなることがあります。

運動会の練習を始めた頃、縄跳びの練習を「やりたくない。」「できないからヤダ。」という子が何人かいました。まさに「**自信がない**」状態です。しかし、スモールステップで練習をしていくと、ある時から自分でやるようになり、繰り返し【なわとび体操】の練習にも意欲的に参加し、日々上手になっています。この姿を一言で表すと「**自信がついた!**」状態です。つまり、「**自信がない**」から「**自信がついた!**」に変化しています。これはすごい変化です。

「自信」を辞書で調べると「自信=自分を信じる事」とでます。「失敗しても大丈夫」「練習したらできるようになる」という「自分を信じる力」を子ども達は経験し獲得したことになります。

僕は、「自分を信じる力」=「**挑戦する心**」だと思っています。

これは、あおぞら保育園の保育目標の1つ

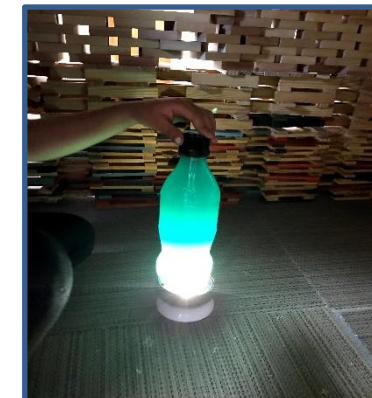
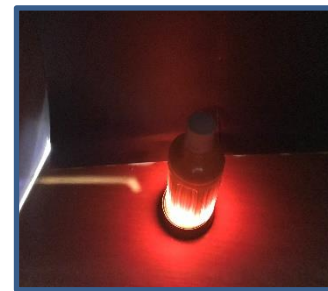
「いろいろなことに挑戦し、自分でやろうとする意欲ある子ども」を

まさに体現していると思いました。この「挑戦する心」の心を燃やして、これから先の小学校やいろいろな事に対して、イキイキわくわく頑張っていける力があると信じています。もしも、「壁」にぶつかった時は、「子どもの力を信じて」自信がつくように背中を押してあげれば「挑戦する心」がまた燃えてくれると信じてください。

「小さな研究員！」 ~色の変化~

「ペットボトル×絵の具×LEDライト」=綺麗なランプ

キャンプごっこで「ランプが欲しい！」と、自分達で絵の具を混ぜて作りました。「赤と青で紫だよね。」「わー、グレープフルーツみたい!」「こっちはレモンかな?」「Tシャツと同じ色」と、できた色に色々な言葉で感想をいっていました。ペットボトルに色水を移し、LEDライトに当てると色の変化!! さらに、水の量を変えると光り方も変化!と、実験を何度も繰り返していました。まるで、研究員のように完成したランプを光らせて、積み木の家の中やテントの中で、本物のキャンプのように楽しんでいます。



「マスクの練習」~就学に向けて~

現在、小学校では「マスク」を必ず着用するきまりになっています。

そこで、子ども達が小学校に行ったときに困らないように

「**個人マスクの管理の練習**」をしようと思います。

- 外に出る時には、個人のマスクケース(園で用意)に入れる。
- マスクを汚さないように過ごす。汚れたら新しいマスクに替える。

※マスクに名前の記入をよろしくお願いいたします。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

